

## 2年連続で i-都市交流会議 2021 で本市職員が優秀賞を受賞

国土交通省では、まちの現状や課題を三次元の地図上に表示する情報基盤の整備「都市構造の可視化」を推進しています。

今年度、この都市構造の可視化に関する研修に1年間参加した本市職員がその成果を「i-都市交流会議 2021」で発表した結果、昨年度に続き、本市職員が優秀賞の一人に選ばれました。

### 1 都市構造の可視化とは

人口分布や販売額、従業者分布をはじめとする統計データを、地図上で高さと色を使って三次元で表示するものです。これにより、都市構造の現状や課題を視覚的・直観的に把握することができます。

### 2 発表内容・発表者

- (1) タイトル 都市構造可視化を使いこなせ！
- (2) 発表内容
  - ア 人口分布と市内の公園を地図上で可視化することによる公園の利用しやすさの分析結果
  - イ 市内大学の学生に実施した、iPadを用いた都市構造可視化ツールの講義や演習の概要
- (3) 発表者 都市整備部 都市計画課 主事 若林 絢音

### 3 i-都市交流会議 2021 の概要

- (1) 開催日時 令和3(2021)年2月24日(水曜日)～25日(木曜日)(Web上で開催)
- (2) 主催 国土交通省都市局
- (3) 参加者 全国の自治体などの職員 約150名
- (4) 受賞者 5名(近畿地方整備局、札幌市、神戸市、長岡市、柏崎市)

### 4 発表内容の活用方法および今後の展開

- (1) 活用方法

市内にある公園と人口分布の関連性を視覚化することで、公園の適正配置に生かすことができます。それにより、市民の生活環境の充実などにつながっていきます。なお、現在策定中の立地適正化計画の検討にも活用しています。
- (2) 今後の展開

各種のオープンデータを可視化して都市計画に活用します。また、さまざまな分野でも活用可能性があるため、このツールの普及に取り組みます。